

【収入保険】私の選択・加入者の声

「年間収入を補償」



【静岡県牧之原市 大石 守昭さん（61）】

もともと私は茶共済（災害収入共済方式）に加入していましたが、凍霜害が何年か続き、基準収穫量が下がってしまったこともあり、共済金の支払対象となることはほとんどありませんでした。以前は水稲、養豚業も営んでおりましたが、現在は茶以外の収入はなく、他の作物で収入をカバーすることができません。

収入保険は、一番茶だけでなく、年間収入の9割が補償されることが魅力です。ここ最近の異常気象は、毎年日本のどこかで甚大な被害をもたらしています。地球温暖化とはいえ、他県では5月に霜の害も報告されています。いざという時のため、私は収入保険への加入を決めました。

掛金の分納ができたり、保険を使わなければ翌年の掛金が安くなるのはありがたいのです。

（NOSAI静岡県中部広報紙「しずおか県ちゅうぶ」2019年7月号より抜すい）